



TOTO

# ウォシュレット 一体形便器 施工説明書

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

## 必ず実施

### 便器洗浄水量の設定

便器洗浄ボタンを押すと自動で便器洗浄水量を設定します。

➡裏面「**試運転** **②便器洗浄水量の設定**」を参照

#### 試運転を実施してください。

##### 確認① (自治体によって洗浄水量の規制がある場合)

- 大洗浄4.8L、小洗浄3.6L(eco小洗浄3.4L)仕様を「大洗浄6L、小洗浄5L(eco小洗浄4L)」または「大洗浄8L、小洗浄6L(eco小洗浄5L)」に変更することができます。

➡裏面「**洗浄水量の切り替え**」を参照

**水たまり面が低下した場合の変更方法**の設定をしている場合は、解除(元の仕様に戻す)してから「**洗浄水量の切り替え**」の設定をしてください。

また、確認①の設定をしている場合は、確認②の設定は不要です。

##### 確認② (確認①で設定変更していない場合)

大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。

\*「自治体によって洗浄水量の規制がある場合」の設定をしている場合は、この設定は不要です。

##### 正常な状態

設定変更是不要です。

(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。)



この面まで水がたまっている

(水たまり面の判断に迷ったときは)

ペットボトルやバケツなどで徐々に水をたし、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

\*水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。排水管に曲がりが多い場合は、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

##### 水たまり面が低い状態

設定変更を行ってください。

(水たまり面を正常な状態にすることができます。)



この面まで水がたまっている

設定変更のしかた  
裏面「**水たまり面が低下した場合の変更方法**」をご確認ください。

#### ガイドプレートありの場合

##### ●従来のものと ウォシュレット本体の 仮置き状態が異なります。

ウォシュレット本体を  
便器に置いたとき、  
すき間がありますが  
問題ありません。



ガイドプレート  
施工時に  
手が触れたり  
しないよう  
ご注意ください。

#### 同梱部品

\*使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。 \*リモコンは機種によって異なります。

##### リモコン部品

\*リモコンはいずれかが同梱されています。

(スティックリモコン)

リモコンハンガー

リモコン

リモコンハンガー

リモコン

## 取付方法

### 1 止水栓の取り付け

① 給水金具と排水管の位置を決める  
※給水口と排水口は、ゴミなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。

リモデルのときは…

便器の施工説明書の取付範囲を確認してください。

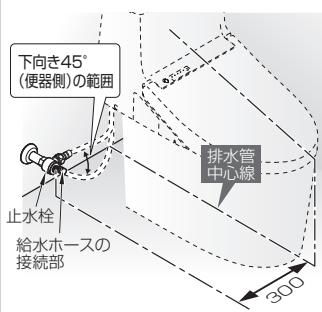
### 2 止水栓を取り付ける

**注意**

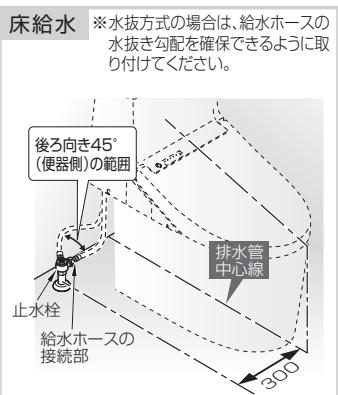
必ず同梱の止水栓（フィルター付）を取り付けてください。

給水ホースがきちんとおさまるように下図の範囲で給水ホース接続部を折れ曲がらないように取り付けてください。

壁給水



床給水

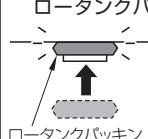


### 2 便器の取り付け

便器部の施工説明書に従い、便器を取り付ける

### 3 ウォシュレット本体の取り付け

① ウォシュレット本体底面にロータンクパッキンを取り付ける



奥まで確実に入れる  
正しく取り付けないと水漏れの原因になります。

② ウォシュレット本体底面に取付ボルト(4本)を取り付ける



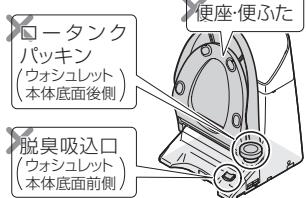
③ ウォシュレット本体を便器に仮置きする



**注意**

●パッキンおよび給水口周辺のゴミは必ず取り除いてください。  
ゴミを取り除かなかったり、ウォシュレット本体をななめにおろすとパッキンがめくれたり、水漏れの原因になります。

●ウォシュレット本体を持ち上げるときは、下図の場所は持たないでください。  
下図の場所を持つと、便ふたがはずれたり、製品が破損する原因になります。



※ガイドプレートがはずれた場合

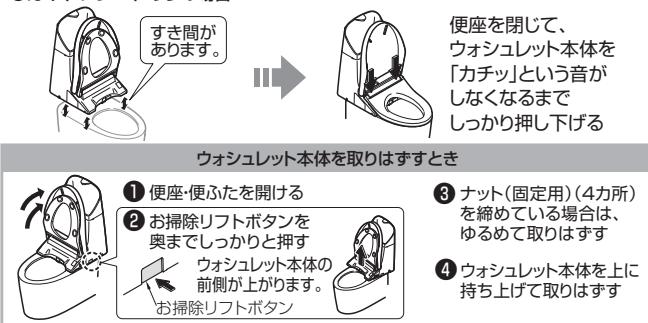
➡裏面 ガイドプレートの取付方法 参照

## 取付方法

### 3 ウォシュレット本体の取り付け（つづき）

●ガイドプレートなしの場合 ➡ 下記手順④へ

●ガイドプレートありの場合



#### ④ ナット(固定用)(4カ所)でウォシュレット本体を固定する

※後側2カ所を先に固定してください。  
その後、便座の位置を合わせて前側2カ所を固定してください。

**注意**  
ナット(固定用)を締め付けるときは必ず手で行ってください。  
工具を使用すると破損の原因になります。

**確認!**

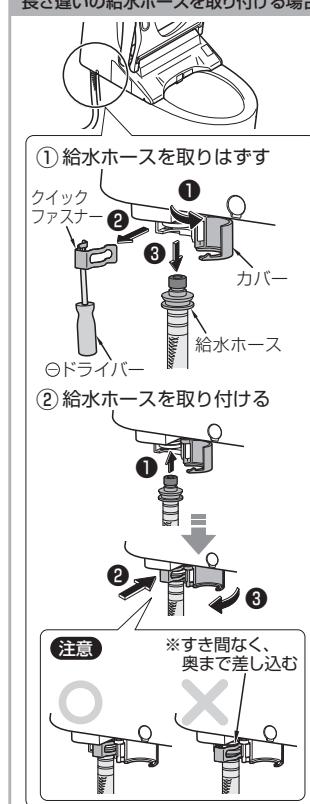
※1 再度、確実に締まっていることを確認してください。  
※2 ウォシュレット本体のガタつきがないことを確認してください。

#### ⑤ 保護キャップを取りはずし、止水栓に給水ホースの袋ナットを締め付ける

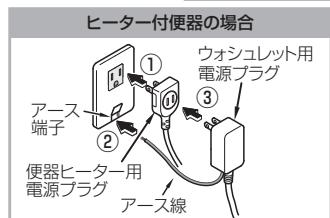
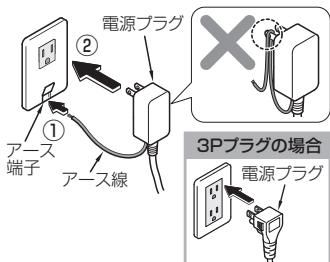


リモ델現場などで、止水栓の位置が異なる場合は製品に取り付けている給水ホースでは長さが合わないことがあります。  
別途、給水ホースをご購入ください。  
(表紙 給水ホースの長さが足りない場合 参照)

長さ違いの給水ホースを取り付ける場合



## 電源プラグ(アース線)の接続と確認

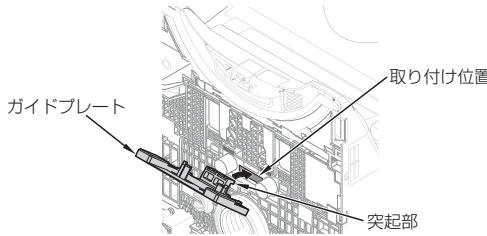


●ノズルがいったん出て戻る初期動作を行なうか確認する  
●電源プラグの作動確認をする  
「切表示」ランプ  
①「切」ボタンを押す  
製品への通電が切れる  
②「入」ボタンを押す  
製品への通電がはじまる  
「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。

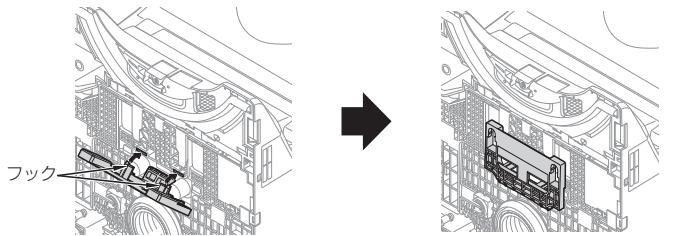


## ガイドプレートの取付方法

① ガイドプレートの突起部を取り付け位置にかける



② ウォシュレット本体底面側に押し、フック（2カ所）をはめる



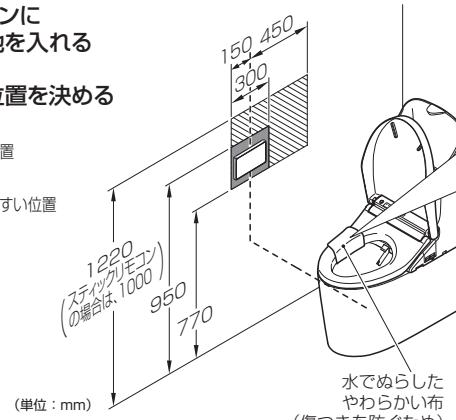
## リモコンの取り付け

① リモコンに乾電池を入れる

② 取付位置を決める

取付位置の目安

使いやすい位置の目安



(単位: mm)

【作動の確認】  
① 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる



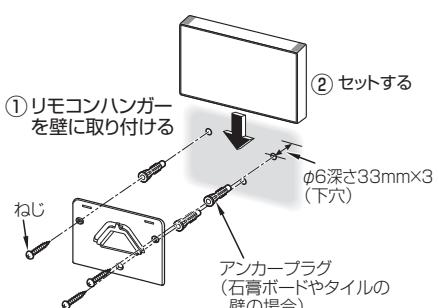
② 「おしり」ボタンを押してノズルが伸出することを確認する

③ 「止」ボタンを押す

④ 作動しない場合

- リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認
- ※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。
- 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
- 天井や壁の色(黒っぽい場合)・形状・材質などの条件が合わないとき
- 後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき
- インバーター方式の照明下のとき

③ リモコンハンガーの取り付け

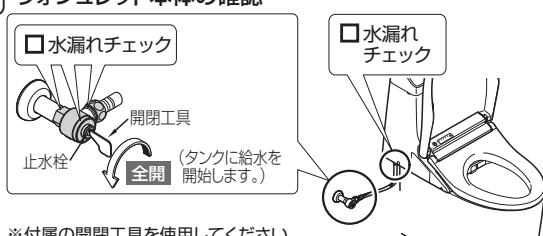


## 試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

●試運転の前および試運転完了時は必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。

(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

① ウォシュレット本体の確認



※付属の開閉工具を使用してください。

作業が完了したら、必ずお客様にお渡してください。

※タンク給水中「ヒュー」という音がする場合は、給水圧が高くなっていますので、音が鳴らなくなるまで止水栓を少し右へ回してください。

※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

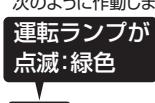


・「運転」ランプが点灯していることを確認してください。

□ 運転ランプが点滅していませんか  
→凍結防止が「入」に設定されています。

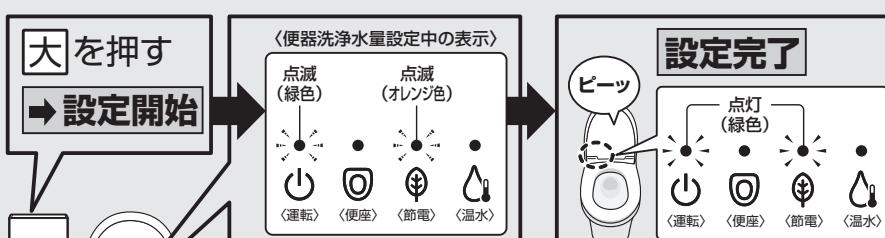
※仕様をご説明のうえ、お客様が希望された場合のみ設定を行ってください。

●凍結防止を「入」にすると、次のように作動します。



② 便器洗浄水量の設定

■本製品は、最初の便器洗浄時に自動で使用環境の水圧条件を計測し、便器洗浄水量を設定します。



設定中は…

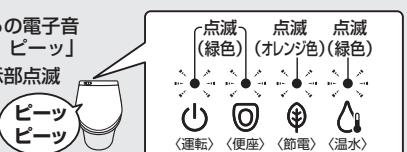
- お風呂やキッチンなどの水を使用しない  
(お客様にもお伝えください。)
- すべてのボタンを押さない
- 止水栓を開閉しない

正しく洗浄水量の設定ができない原因になります。

次のような場合は、正しく設定できていません。(一定時間で通常の表示に戻ります。)

・製品からの電子音「ピーッ、ピーッ」

・本体表示部点滅



一度設定を解除してから、もう一度、設定しなおしてください。解除方法は下記をご確認ください。

設定解除方法

・シンプルリモコンの場合

- 止
- ① [停止] を10秒以上押す  
●リモコンのランプが全点滅します。

- 止
- ② [大] と [小] を同時に押す  
●「ピッ」という電子音が鳴ります。

- 止
- ③ [停止] を押す → ④ [大] を押す

・スティックリモコンの場合

- リモコン裏面のボタンで操作します。  
① [STOP] を10秒以上押す  
●「施工者モード」画面が表示されます。
- ② [▲] で「便器圧損学習リセット」を選び [●] を押す  
●「ピッ」という電子音が鳴ります。
- ③ [STOP] を押す → ④ [大] を押す

自動で3回または6回連続で便器洗浄し、完了するまで最大約5分かかります。

## 試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

### ③ 機能の確認

□ 便器洗浄時にウォシュレット本体底面から水漏れなどの異常がないかを確認しましたか

□ 自治体による洗浄水量の規制に合った水量設定を行いましたか

□ 水たまり面が低下していませんか

大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。

(※自治体によって洗浄水量の規制がある場合)の設定をしている場合は、この設定は不要です。

詳しく述べる

表紙「施工業者様へ  
確認②」参照

設定変更は不要です。

正常な水たまり面

この面まで水がたまっている

設定変更を行ってください。

水たまり面が低い

設定変更のしかた  
下記「水たまり面が低下した場合の変更方法」をご確認ください。

□ ノズルから温水が出てますか  
(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)

④ 「おしり」ボタンを押す

⑤ 「止」ボタンを押す

① 水でぬらしたやわらかい布  
(傷つきを防ぐため)

② 着座スイッチ「入」  
(手などで押さえる)  
スイッチ ON!

③ 紙コップ

□ リモコンで便ふたがきちんと開けますか  
(オートふた開閉付のみ)  
※3回続けて開いた位置を記憶します。

便ふたが途中で止まるようになつた場合

① 障害物を取り除く  
② 電源プラグをはずし、5秒後に差し込む

③ リモコンの「便ふた開閉」ボタンを押す

## 洗浄水量の切り替え (自治体によって洗浄水量の規制がある場合)

●大洗浄4.8L、小洗浄3.6L(eco小洗浄3.4L)仕様を下記水量に変更することができます。

シンプルリモコンの場合

大洗浄 6L、小洗浄 5L (eco小洗浄 4L) にするとき	大洗浄 8L、小洗浄 6L (eco小洗浄 5L) にするとき
---------------------------------------	---------------------------------------

① 止 □ を10秒以上押す  
●リモコンのランプが全点滅します。

水勢  
② + と 温水  
を同時に押す  
ノズルそうじ  
② 入切 と 温水  
を同時に押す

「ピッ」という電子音が鳴ります。

③ 止 □ を押す※1

スティックリモコンの場合

大洗浄 6L、小洗浄 5L (eco小洗浄 4L) にするとき	大洗浄 8L、小洗浄 6L (eco小洗浄 5L) にするとき
---------------------------------------	---------------------------------------

リモコン裏面のボタンで操作します。

① 止 □ を10秒以上押す  
●「施工者モード」画面が表示されます。

② ▲ で「便器洗浄水量切替」を選び □ を押す

③ ▲ で「便器洗浄水量  
切替②」  
を選び □ を押す

④ ▲ で「便器洗浄水量  
切替③」  
を選び □ を押す

「ピッ」という電子音が鳴ります。

③ 止 □ を押す※1

## 水たまり面が低下した場合の変更方法

●大洗浄4.8L、小洗浄3.6L(eco小洗浄3.4L)の洗浄水量は変わりません。

シンプルリモコンの場合

止 □	を10秒以上押す
-----	----------

●リモコンのランプが全点滅します。

水勢  
② - と 温水 を同時に押す

③ ▲ で「便器洗浄水量切替①」を選び □ を押す

「ピッ」という電子音が鳴ります。

③ 止 □ を押す※1

(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ピッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)

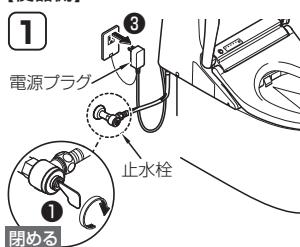
④ 止 □ を押す※1

(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、③で「ピッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)

\*1 変更した場合、便器洗浄してから約1分後に便器水たまり面の高さを戻すために水を補給します。

## 給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除 (試運転後)

### 【便器側】



② ノズルを伸出させる ※給水管内の圧抜きです。

シンプルリモコンの場合

ノズルそうじ

入切 押す

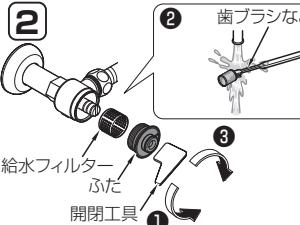
スティックリモコンの場合

リモコン裏面のボタンで操作します。

① □ メニュー/戻る MENU/RETURN を押す

② ▲ で「お手入れ」を選び □ を押す

③ ▲ で「ノズルそうじ開始/停止」を選び □ を押す

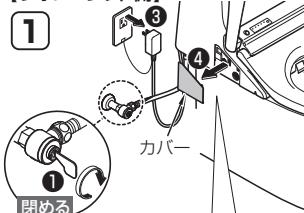


② 歯ブラシなど

③ 全開



### 【ウォシュレット側】



② ノズルを伸出させる ※給水管内の圧抜きです。

シンプルリモコンの場合

ノズルそうじ

入切 押す

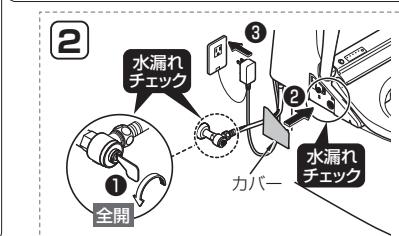
スティックリモコンの場合

リモコン裏面のボタンで操作します。

① □ メニュー/戻る MENU/RETURN を押す

② ▲ で「お手入れ」を選び □ を押す

③ ▲ で「ノズルそうじ開始/停止」を選び □ を押す

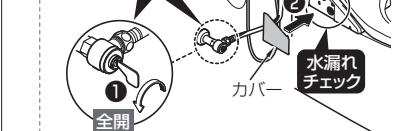


② 水漏れ チェック

カバー

③ 全開

カバー



### 製品引き渡しまでの期間が長い場合

\*必ず水抜きをしてください。(故障の原因)

#### 1 ■ 流動方式のとき

止水栓または元栓を開める

■ヒーター付便器・水抜栓併用方式のとき

水抜栓を操作して、給水を止める

お願い 止水栓は開けたままにしておいてください。

#### 2 タンクの水を抜く

リモコンの「大洗浄」ボタンを押す

#### 3 配管の水を抜く

(給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除 (試運転後))

【ウォシュレット側】① - ② ③ ④ ⑤ ⑦ 項参照

\*電源プラグは抜いたままにしておいてください。

#### 4 水抜きプラグを空回りするまでゆるめる

●ノズル付近から水が出る

(水がすべて抜けるまで約3分かかります。)

\*水抜きプラグは取りはずできません。



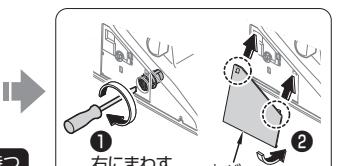
■凍結のおそれがあるときは

・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。

(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようお客様にお伝えください。)

#### 5 水抜きプラグをマイナスドライバーで確実に締め、カバーを取り付ける

II →



## 施工業者様へ

●取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。

●ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。  
新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。